

収支予算書

(正味財産増減計算ベース)

一般社団法人 日本生殖医学会

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成28年度予算(A)	平成27年度予算(B)	増減(A)－(B)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	51,780,000	36,400,000	15,380,000	
正会員会費	51,380,000	36,000,000	15,380,000	会員数4500として計算。 医師会員12,000円(会員全体の現状73.2%)、医師以外会員10,000円(26.8%)で試算。 実会員数は4800想定だが未収金・資格喪失等での未収相殺を勘案
賛助会員会費	400,000	400,000	0	
事業収益	91,073,000	164,332,000	▲ 73,259,000	
生殖医療従事者講習会受講料	7,500,000	7,500,000	0	
専門医受験料	1,300,000	900,000	400,000	対象専攻医が全員受験したとして134名×2万円だが、前年の受験推移をみて、約50%が受験すると勘案し65名受験と予測、合格者が40名と予測。受験料は2万
専門研修開始登録料・専門医登録料	6,030,000	6,130,000	▲ 100,000	研修開始登録料: 予測がつかませんが少しはこれまでより減少するかと勘案して90名とした場合×5000円(H27の申請者実績は131名、H26は91名) 新規合格者40名として5万×40 更新登録者179名として2万×179
専門医コーディネーター登録料・更新料	100,000	230,000	▲ 130,000	新規7、更新13(予定。初回2007はなし、2012認定の方13)として×5000円
専門医ブローチ	32,000	32,000	0	
ガイドライン出版印税	0	0	0	実績勘案
生殖医療の必修知識	4,320,000	4,320,000	0	¥12,000×360部勘案(発行部数2,500部)
機関誌購読料	1,000,000	1,000,000	0	実績勘案
機関誌広告料	1,600,000	3,500,000	▲ 1,900,000	定期広告から不定期広告への移行増予測により
機関誌広告料RMB	1,500,000	1,500,000	0	実績勘案
ホームページ広告料	200,000	200,000	0	1社
学術講演会開催収入	63,991,000	135,520,000	▲ 71,529,000	第61回収支予算より
日本受精着床学会負担金収入	2,500,000	2,500,000	0	
日本アンドロロジー学会負担金収入	1,000,000	1,000,000	0	
受取補助金等	1,138,720	1,760,000	▲ 621,280	
学術奨励費	1,138,720	1,760,000	▲ 621,280	副賞実費含 賞品コストダウン等により
雑収益	25,000	25,000	0	
受取利息	25,000	25,000	0	
雑収入	0	0	0	
経常収益計	144,016,720	202,517,000	▲ 58,500,280	
(2) 経常費用			0	
事業費	125,836,780	186,391,233	▲ 60,554,453	
庶務委員会費	800,000	1,300,000	▲ 500,000	代議員選挙年ではないため、会議費等は節減
会計委員会費	50,000	50,000	0	
渉外委員会費	3,500,000	2,500,000	1,000,000	自己負担分増と円安の影響を考慮 IFFSインド開催分でのべ9回分の渡航補助必要 但し、インドの渡航費は実費精算としていただくこととし50万×9ではなく総額350万円内とする
学術委員会費	100,000	100,000	0	RMB賞と切り離し
編集委員会費	1,900,000	800,000	1,100,000	電子化・活性化の為

広報委員会費	570,000	30,000	540,000	広報活動の活性化の為
倫理委員会費	450,000	420,000	30,000	実績+議事録テープ起こし(専門的内容含)4 回分希望
将来計画検討委員会費	150,000	150,000	0	
社会保険委員会費	60,000	30,000	30,000	生殖看護協会との打ち合わせの為
専門医資格制度委員会費	12,800,000	7,800,000	5,000,000	日本専門医機構に伴う制度改定作業とシステム改修等はシ ステム改修費として新規計上。その他それにかかる会議、新 資格制度等の整備投資が必要 各ブロックで専門医機構への移行の周知説明の講演を実 施するのに+40万
専門医認定制機構会費	0	0	0	サブスペシャルティ学会のため請求なし
日本医学用語委員会費	30,000	30,000	0	
学術講演会開催費	58,978,349	132,234,287	▲ 73,255,938	第61回収支予算
学術奨励賞副賞費	1,138,720	1,760,000	▲ 621,280	賞金、記念品等製作費含
RMB優秀論文賞副賞費	205,000	190,000	15,000	賞金、記念品等製作費実績勘案
IFFS会費	140,000	120,000	20,000	\$ 1,000USD レート実績勘案
ICMART援助金	360,000	360,000	0	\$ 3,000USD
外保連会費	400,000	400,000	0	
内保連会費	200,000	200,000	0	
日本医療安全調査機構会費	100,000	100,000	0	
日本医学会連合会費	290,000	275,000	15,000	新規:基本5万円+会員数4800×50円
ブロック支援費	2,496,000	0	2,496,000	各ブロック30万円補助×8+会員数4800× 20円として勘案 昨今の運営状況を鑑み当 面
期首商品棚卸高	1,473,856	2,712,578	▲ 1,238,722	「生殖医療の必修知識」期首棚卸高
生殖医療の必修知識製作費	1,929,160	1,117,486	811,674	必修知識2017執筆原稿提出宅急便平 均1000円/件 ×100件分も新規加算
期末商品棚卸高	▲ 147,385	▲ 441,582	294,197	「生殖医療の必修知識」期末棚卸高
機関誌印刷費	6,600,000	6,600,000	0	実績勘案
機関誌発送費	1,800,000	1,800,000	0	
ホームページ事業費	1,200,000	1,200,000	0	
資料作成費	500,000	500,000	0	実績勘案(各部委員会へ経費移動)
事務委託費	12,674,880	9,706,424	2,968,456	消費税抜きとすると11,736,000円 従来消費税込(3%当時平成21年度から据え 置き)で、かつ事務所維持費等込の委託費 だったが、業務量の加速的増加・多岐にわ たるため、事務員1名増員(現状1名フルタイ ム&1名パートタイム体制→3名フルタイム) へ。 事業費と管理費で配分。
編集会議費RMB	150,000	180,000	▲ 30,000	
機関誌印刷費RMB	8,700,000	8,700,000	0	実績勘案
機関誌編集費RMB	300,000	240,000	60,000	実績勘案(論文数増)
旅費交通費RMB	130,000	130,000	0	実績勘案
通信運搬費RMB	2,650,000	3,000,000	▲ 350,000	実績勘案
消耗品費RMB	30,000	30,000	0	
印刷製本費RMB	100,000	50,000	50,000	前回決算勘案
システム作成費RMB	140,000	70,000	70,000	前回決算勘案
オンライン編集費RMB	840,000	840,000	0	京都大学出版会委託費 消費税込
雑費RMB	20,000	3,000	17,000	前回決算勘案
会場費(市民公開講座)	800,000	311,040	488,960	第61回収支予算
講演者謝金(市民公開講座)	500,000	540,000	▲ 40,000	第61回収支予算
旅費交通費(市民公開講座)	150,000	108,000	42,000	第61回収支予算
広告宣伝費(市民公開講座)	200,000	35,000	165,000	第61回収支予算
通信費(市民公開講座)	165,000	30,000	135,000	第61回収支予算
雑給(市民公開講座)	13,200	30,000	▲ 16,800	第61回収支予算

雑費(市民公開講座)	200,000	50,000	150,000	第61回収支予算
管理費	23,150,453	17,067,798	6,082,655	
事務委託費	6,765,120	5,174,948	1,590,172	管理費参照。 消費税抜きとすると6,264,000円
理事会幹事会監事会会議費	3,800,000	3,800,000	0	実績に比し節減
総会諸経費	450,000	250,000	200,000	2回開催の為
旅費交通費	100,000	100,000	0	実績勘案
通信運搬費	350,000	350,000	0	
器具備品費	50,000	100,000	▲ 50,000	ソフトウェアの購入等想定 実績勘案
消耗品費	300,000	300,000	0	実績勘案
慶弔費	30,000	30,000	0	実績勘案
租税公課	4,000,000	2,100,000	1,900,000	消費税・法人税
データベース管理費	680,400	900,000	▲ 219,600	実績勘案
データベース改修費	2,700,000	0	2,700,000	専門医制度改定、会員管理システム の改修(会費出納関係)
管理諸費	1,500,000	1,500,000	0	
減価償却費	924,933	962,850	▲ 37,917	
雑費	1,500,000	1,500,000	0	
経常費用計	148,987,233	203,459,031	▲ 54,471,798	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,970,513	▲ 942,031	▲ 4,028,482	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 4,970,513	▲ 942,031	▲ 4,028,482	
2.経常外増減の部			0	
(1)経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 4,970,513	▲ 942,031	▲ 4,028,482	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
III 当期正味財産増減額	▲ 4,970,513	▲ 942,031	▲ 4,028,482	

(注1)収支予算書は、「公益法人会計基準」及び「特例民法法人が新制度移行前に平成20年度基準を採用する場合の指導監督等について(通知)」(府益担第75号 平成21年3月27日)により、損益ベースで作成しています。そのため、繰越収支差額は表示しておりません。

収支予算書内訳表

(正味財産増減計算ベース)

一般社団法人 日本生殖医学会

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計				小計	その他会計	法人会計	合 計
	機関誌の刊行 事業会計	国際渉外事業 会計	普及啓発事業 会計	市民公開講座 開催事業会計		学術振興事業会 計		
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	25,890,000	25,890,000	51,780,000
正会員会費	0	0	0	0	0	25,690,000	25,690,000	51,380,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	200,000	200,000	400,000
事業収益	7,600,000	0	200,000	0	7,800,000	83,273,000	0	91,073,000
生殖医療従事者講習会受講料	0	0	0	0	0	7,500,000	0	7,500,000
専門医受験料	0	0	0	0	0	1,300,000	0	1,300,000
専門研修開始登録料・専門医登録料	0	0	0	0	0	6,030,000	0	6,030,000
専門医コーディネーター登録料・更新料	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
専門医プローチ	0	0	0	0	0	32,000	0	32,000
ガイドライン出版印税	0	0	0	0	0	0	0	0
生殖医療の必修知識	0	0	0	0	0	4,320,000	0	4,320,000
機関誌購読料	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
機関誌広告料	1,600,000	0	0	0	1,600,000	0	0	1,600,000
機関誌広告料RMB	1,500,000	0	0	0	1,500,000	0	0	1,500,000
ホームページ広告料	0	0	200,000	0	200,000	0	0	200,000
学術講演会開催収入	0	0	0	0	0	63,991,000	0	63,991,000
日本受精着床学会負担金収入	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	0	2,500,000
日本アンドロロジー学会負担金収入	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	1,138,720	0	1,138,720
学術奨励費	0	0	0	0	0	1,138,720	0	1,138,720
雑収益	1,000	0	0	0	1,000	24,000	0	25,000
受取利息	1,000	0	0	0	1,000	24,000	0	25,000
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	7,601,000	0	200,000	0	7,801,000	110,325,720	25,890,000	144,016,720
(2) 経常費用								
事業費	21,665,000	4,000,000	1,200,000	2,028,200	28,893,200	96,943,580		125,836,780
庶務委員会費	0	0	0	0	0	800,000		800,000
会計委員会費	0	0	0	0	0	50,000		50,000
渉外委員会費	0	3,500,000	0	0	3,500,000	0		3,500,000
学術委員会費	0	0	0	0	0	100,000		100,000
編集委員会費	0	0	0	0	0	1,900,000		1,900,000
広報委員会費	0	0	0	0	0	570,000		570,000
倫理委員会費	0	0	0	0	0	450,000		450,000
将来計画検討委員会費	0	0	0	0	0	150,000		150,000
社会保険委員会費	0	0	0	0	0	60,000		60,000
専門医資格制度委員会費	0	0	0	0	0	12,800,000		12,800,000
専門医認定制機構会費	0	0	0	0	0	0		0
日本医学用語委員会費	0	0	0	0	0	30,000		30,000
学術講演会開催費	0	0	0	0	0	58,978,349		58,978,349
学術奨励賞副賞費	0	0	0	0	0	1,138,720		1,138,720
RMB優秀論文賞副賞費	205,000	0	0	0	205,000	0		205,000
IFFS会費	0	140,000	0	0	140,000	0		140,000
ICMART援助金	0	360,000	0	0	360,000	0		360,000
外保連会費	0	0	0	0	0	400,000		400,000

当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 14,064,000	▲ 4,000,000	▲ 1,000,000	▲ 2,028,200	▲ 21,092,200	13,382,140	2,739,547	▲ 4,970,513
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
III 当期正味財産増減額	▲ 14,064,000	▲ 4,000,000	▲ 1,000,000	▲ 2,028,200	▲ 21,092,200	13,382,140	2,739,547	▲ 4,970,513